

自治会だより

今回より紙面を
リニューアルしました。

平成31年度の定期総会を開催 新会長に3区の裏さんを選出

平成31年度の定期総会が4月13日に上江別自治会館において開催されました。

総会は44名の出席のもと4区の大高幸男さんが議長に就任し、議事の平成30年度事業報告、同一一般会計及び道路特別会計の決算報告、会計監査報告が行われ原案どおり承認されました。

続いて、平成31年度事業計画、同一一般会計及び道路特別会計の予算案も提案どおり決定されました。

平成31年度の主な事業計画は、前年の胆振東部地震の影響で中止となった「敬老の集い」と「新年の集い」が実施計画に盛り込まれました。



好評の「園芸講習会」の開催も2回に増やすとともに、子供たちに喜んでもらえる「こども夏祭り」等は例年同様の開催とすることが盛り込まれました。

また、予算編成では一層の経費節減に努め、財政調整基金へ20万円を積み立てることで将来の財政基盤の安定を図ることにしました。



本年は役員改選期であることから、選考委員長より選考経過など説明のあと改選役員の提示があり、新会長に3区1班の裏悦瑞(うらよしみず)さんが選任されました。

裏新会長は「阪神大震災後の神戸を視察する機会があったが、災害の際は自治会の連絡協調がきわめて重要であり、被害に対抗できる最良の手段であることを痛感した。」との挨拶がありました。

また、新たに総務部長に藤谷

新会長のあいさつ

「健康・生きがい開発財団」によると、第三者(他人)のための活動は生きがいを感じる喜びとなり、生活を広げ人となつながら社会性は、年齢によるフレイル(虚弱)を遅らせることが可能とのことです。(北海道新聞の掲載記事)

また、平成は大災害が相次ぎましたが、地域との交流が無く支え合いの機能が失われる、いわゆる「無縁社会」が、災害時とその後の避難被害を拡大させてしまふことも深刻な問題とされており、地域コミュニティの重要性が高まっています。

昭和41年の自治会発足時から、地域の発展に尽力された諸先輩の熱き思いを引継ぎ、新時代「令和」に相応しい自治会活動に貢献できたらと考えていますので、よろしくお願いいたします。

裏悦瑞

満雄氏、道路交通部長に橋主税氏、会計部長に宮腰ゆき子氏、育成部長に仲井紀夫氏、監査役は大澤三千枝氏、さらに副会長の安念宣昭氏が育成副部長を兼務、総務副部長の丸田秀敏氏が副会長を兼務、福祉副部長に仲井ノブ子氏がそれぞれ選任されました。

同時に執行役員は「自主防災組織」の各役員も担うことになりました。

(新役員、新区長、新班長の一覧は回覧で全戸に配布されておりますので、どうぞよろしくお願ひします。)

なお、今期で退任された執行役員の皆さまは次のとおりです。

▼退任

会長 長谷川直紀氏

(新相談役を委嘱)

総務部長 星野邦明氏

育成部長 木本弘道氏

育成副部長 秋元真由美氏

女性副部長 中村民江氏

会計部長 大澤三千枝氏

(新監査役に就任)

道路交通部長 八島学氏

監査役 裏君子氏

退任の皆さまたいへん有難うございました。